

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホームひまわりの家

作成日: 平成26年4月7日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の創設時に創られた理念を見やすいところに掲示してあるが、職員間で振り返りは行われておらず、共有し実践にはつなげられていない。	定期的に話し合いの場を持ち、事業所が目指すサービス提供の方向性を明確なものとし実践していく。	毎月の主任・計画作成担当者会議やフロア会議の場にて理念を振り返り、理念に沿った事業所の取り組みを話し合い実践していく。	6ヶ月
2	2	利用者が地域とつながりながら暮し続けられるような、事業所と地域の交流をする機会が少ない。	地域の住民が日常的に尋ねて来たり、事業所の事を知ってもらえるよう地域との交流が広げられるような取り組みをする。	広報誌を年2回発行し、行事のチラシを直接手渡しで配布するなどして事業所のことを知ってもらい気軽に尋ねて来やすい関係性を築いていく。また、元気力アップサポーター制度に登録し地域のボランティアの受け入れを行う。	6ヶ月
3	24	アセスメントの書式について現在統一されたものが使われていなかった為にこれまでの暮らしや思いの把握が十分ではない。	一人ひとりのこれまでの暮らしや思い、地域社会とのかかわりを把握しサービス利用が本人本位のものとなるようにする。	センター方式のアセスメントを使用し、これまでの暮らしや思いをご家族が面会に来た際にお聞きし、また、面会になかなか来られないご家族にも電話で聞くなどして把握できるよう記録を残し本人本位のサービスが提供出来るようにする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月